【実施区域・面積】

山口県下関市、271.8ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、水田、河川・湖沼

【実施区域の状況】

およそ250ヘクタールの市有林内にある自然環境に恵まれた森で、ヤマザクラ、ヤマツツジ、イロハモミジ、ヤブツバキなど四季折々の自然を満喫することができる。小川や周辺の森、草原には環境省・県の絶滅/準絶滅危惧種も数種類確認されているなど、豊かな生態系が育まれている。

【目標】

希少種を含めて在来種を中心とした豊かな生態系を維持しつつ、市民にレクリエーションの場を提供する。それと同時に、自然学習の機会を提供し、市民に里山環境の保全の重要性を学んでもらう場として活用する。

【主な活動内容】

「エコピアの森　下関・深坂における森林整備実施協定書」に基づくエコ活動（森林保全活動）として、下草刈りや枝打ち、間伐等を実施する。また、地域住民や株式会社ブリヂストンの従業員を対象とした自然学習イベント（森林保全体験や生物観察会を企画）、子供を対象とした生物観察会を実施する。

【モニタリング計画】

維管束植物、鳥類、魚類を対象として、深坂自然の森 森の家下関周辺を中心としたエリアにおいてモニタリングを実施する。1年に2回の頻度で、自然学習イベントの際に実施する。

【実施体制】

株式会社ブリヂストンが自然学習イベント（森林保全体験や生物観察会）を運営し、梅光学院大学（子ども学部子ども未来学科）がイベント運営を支援する。また、みさかの森自然学校共同体が生物観察会等を企画・運営する。








【計画期間】

2025年12月～2030年3月